



2026年7月29日

各 位

会 社 名 太洋テクノレックス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 細 江 正 大
(コード番号: 6663 東証スタンダード)

問 合 せ 先
役職・氏名 執行役員経営管理部長 園 部 直 孝
電 話 0 7 3 - 4 3 1 - 6 3 1 1

2026年12月期 第2四半期（中間期）業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年1月30日に公表した2026年12月期第2四半期（中間期）（2025年12月21日～2026年6月20日）の業績予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営 業 損 益	経 常 損 益	親会社株主に 帰属する 中間純損益	1株当たり 中間純損益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 （ A ）	2,150	25	22	9	1.58
今 回 修 正 予 想 （ B ）	1,782	83	79	39	6.50
増 減 額 （ B － A ）	△367	57	57	29	－
増 減 率 （ ％ ）	△17.1	222.4	260.1	311.9	－
（参考）前期第2四半期実績 （2025年12月期第2四半期）	1,607	△57	△59	△65	△10.90

2. 修正の理由

第2四半期（中間期）連結業績予想数値については、テストシステム事業において外観検査機の販売が想定を下回ったこと、電子基板事業において一般試作及び委託量産案件の受注が想定どおり進捗しなかったこと、並びに産機システム事業において当第2四半期に見込んでいたFA案件の検収時期が第3四半期以降にずれ込んだことから、売上高は当初予想を下回る見込みであります。損益については、テストシステム事業における売上高未達による影響はあったものの、人件費が当初予想を下回ったこと及び電子基板事業において売上高材料費率が想定を下回ったことから、営業損益、経常損益及び親会社株主に帰属する中間純損益は当初予想を上回る見込みであります。

なお、通期の連結業績予想については、足元の損益は当初予想を上回って推移しているものの、売上高計画の達成見込み等が現時点では不透明であることから、2026年1月30日に公表した当初予想を据え置くことといたしました。今後、業績動向を踏まえ修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

※本業績予想等については、現時点で入手可能な情報及び合理的と考える一定の前提に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等の様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。

以 上